

販売店様・加工店様へのお願い

この度は、当社製品をお買上頂き誠に有難うございます。
本体取付の際には、本マニュアルをご一読頂きますようお願い申し上げます。

絵表示	意味
	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。
	「必ず行なっていたく事」を示しています。

- 注意** ・ホームテリア商品は常に湿気のある場所へのご使用は避けてください。
- 注意** ・直接日光に当たる場所への保管は避けてください。
- 注意** ・施工時、雨がかけられない様にご注意ください。
- お願い** ・取付の際、水平・垂直・ねじれ（対角）にご注意ください。

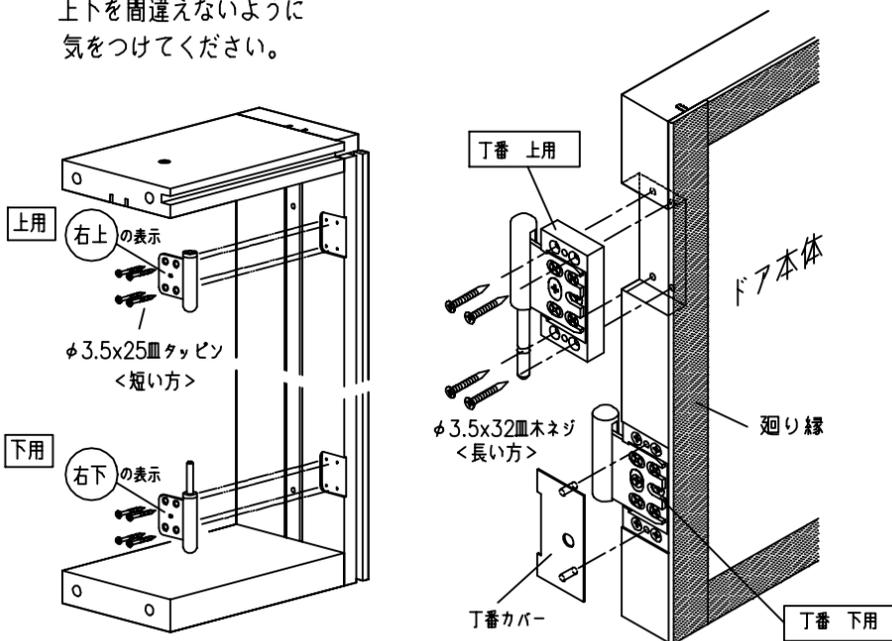
梱包内容

梱包内容	レバー型ハンドルセット	角型ハンドルセット	ハンドル取付けビスセット	丁番	丁番取付けビス	マニュアル	
枠梱包 本体梱包 ケーシング 梱包 部品箱			洋室側 ハンドル固定ビス $\phi 3.5 \times 16$ 皿タップピン X 1本 洋室側 台座取付けビス $\phi 3.8 \times 16$ 皿木ネジ ブラック X 2本 和室側 台座取付けビス $\phi 3.8 \times 16$ 皿木ネジ ブラック X 2本		本体側用 <長い> $\phi 3.5 \times 32$ 皿木ネジ X 8本 枠側用 <短い> $\phi 3.5 \times 25$ 皿木ネジ X 8本		
数量	BITBOX5R/L	—	1セット	1セット	上下各1セット	1セット	1
	BITBOX6R/L	1セット	—	1セット	上下各1セット	1セット	1

丁番の取付け

(本図は右吊り元の例です)

- ① 枠側の丁番を取付けます。
上下を間違えないように
気をつけてください。



- ② ドア本体に丁番を木ネジで取付けます。
丁番には右用、左用以外に
上用、下用がありますので
注意して取付けてください。

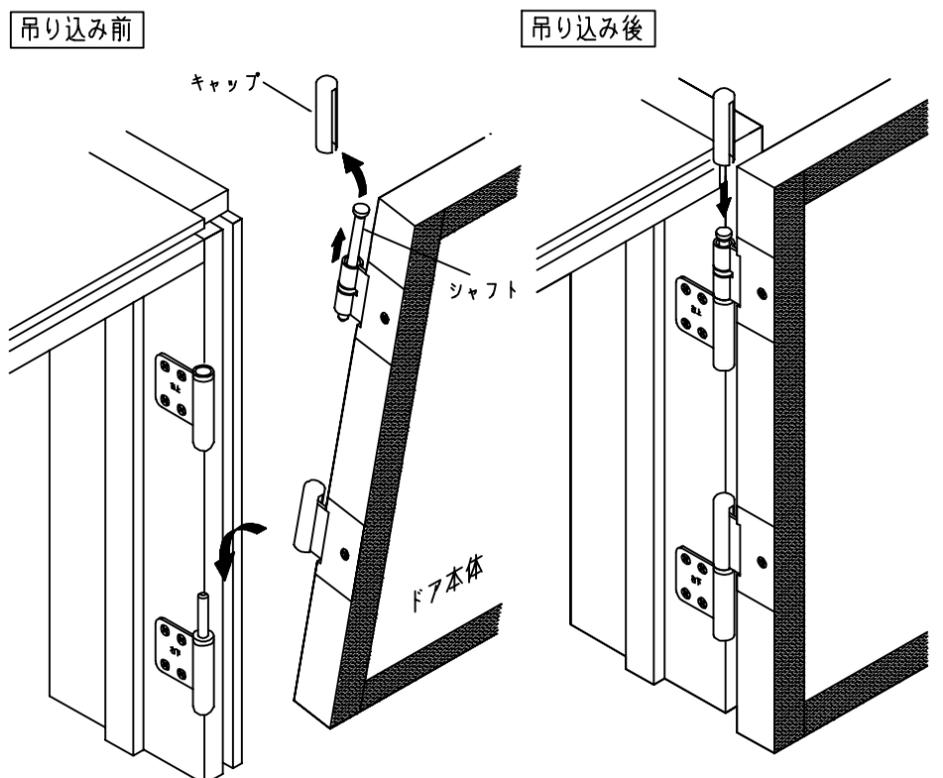
注意

丁番は木ネジでゆるみのないよう
しっかりと取付けてください。
丁番を取付ける際、和室側の廻り縁に
傷をつけないように注意してください。
丁番の取付けが終わったら、丁番カバーを
しっかりと嵌め込んでください。

ドア本体の吊り込み

(本図は右吊り元の例です)

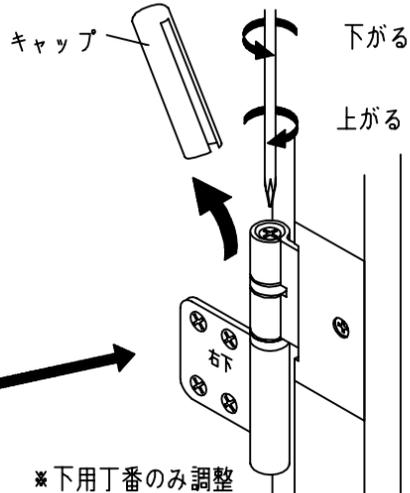
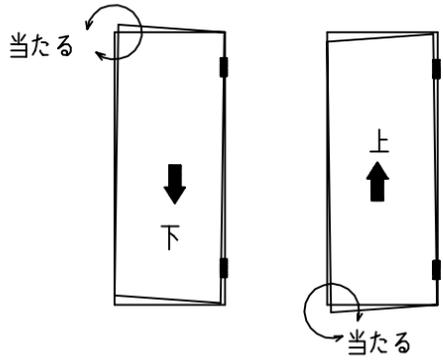
本体上用丁番のキャップを外し、シャフトを引き上げます。
枠下用丁番のシャフトに本体下用丁番を差込み
次に枠上用丁番に本体上用丁番を乗せてシャフトを
”カチッ”と音のする位置まで落とし込みます。
最後に外してあったキャップをかぶせます。



丁番の調整

● 上下調整

(1) ラッチ側の上、下が当たる場合



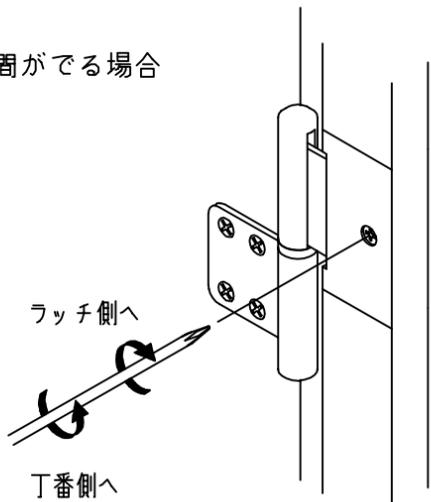
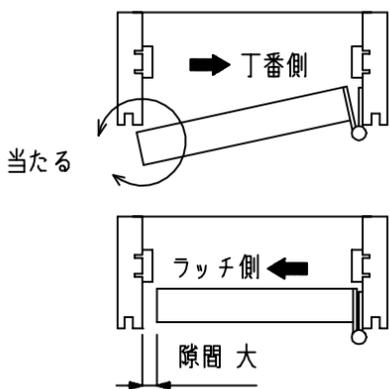
下用丁番のキャップを外し、丁番の管の内部にある調整ネジを回し調整します。

右に回せばドアは上方向へ2mm
左に回せばドアは下方向へ2mm
調整できます。

調整が終わりましたら、キャップをかぶせてください。

● 左右調整

(2) ラッチ側の縦枠に当たったり、隙間がでる場合

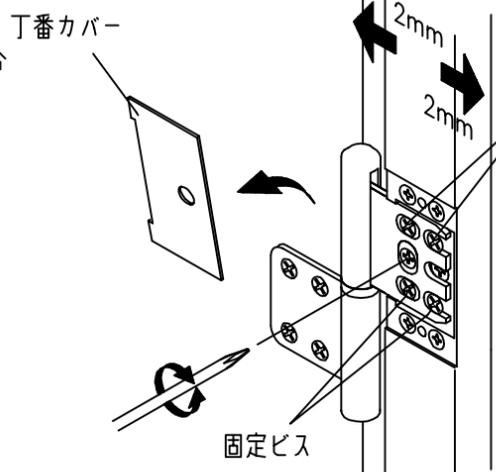
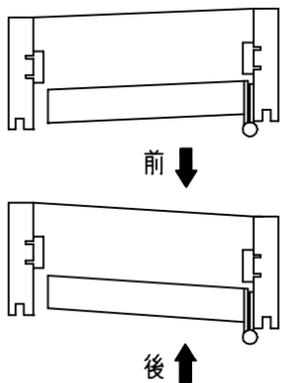


ドア本体側に取付いた中央の左右調整ビスを回し調整します。

右に回せばドアはラッチ方向へ2mm
左に回せばドアは丁番方向へ2mm
調整できます。

● 前後調整

(3) 左右縦枠がネジレている場合



ドア本体の丁番カバーを外し、4本の固定ビスをゆるめてください。

中央の前後調整ビスを回し調整します。

前後へ2mmずつ調整できます。

⚠ 注意

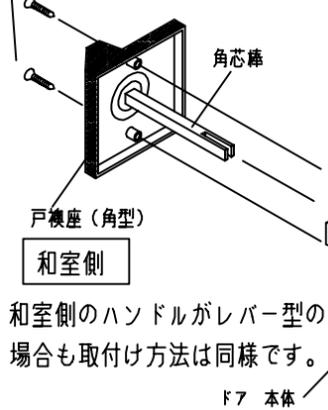
調整が終わりましたら、4本の固定ビスを完全に締め付けてください。

先ほど外したカバーをしっかりとめ込んでください。

錠の固定

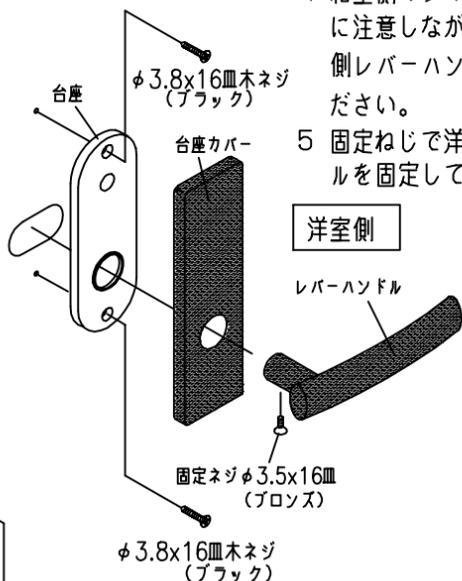
ハンドルの取付 (部品箱)

φ3.8x16皿木ネジ (ブラック)



- 1 和室側の戸襖座を本体にビスで固定してください。
- 2 洋室側の台座をセットしてビスで固定してください。
- 3 台座カバーをかぶせてレバーハンドルを差込んでください。

- 4 和室側のツマミの角芯棒を向きに注意しながら錠を通して洋室側レバーハンドルに差込んでください。
- 5 固定ねじで洋室側レバーハンドルを固定してください。



台座カバーのはずしかた

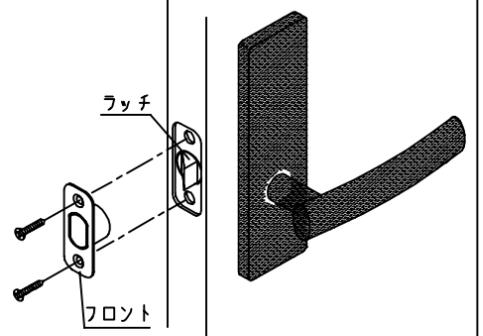
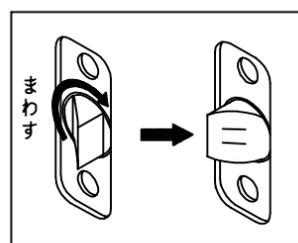
付け方を誤ったり台座を交換する際は台座カバーの下部の孔にマイナスドライバーを差込んではずしてください。

⚠ 注意

ドア本体をキズつけないよう、あて紙やあて布等で本体を保護してからはずしてください。

錠のR・Lの設定について

錠 (ラッチ) は工場出荷時に右吊り元の向きに取り付けてありますが左吊り元として使用する場合は図のように、フロントを取り外しラッチの先端を回転させた後、フロントを付け直してください。



錠受の調整

錠受とラッチとの当たりを調整したい時は、錠受の中心にあるビスを回してください。

右に回すと約3.5mm
左に回すと約1.5mm、調整できます

